

横山 禎徳 (YOKOYAMA Yoshinori)



東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム (東大 EMP)
企画推進責任者

東京大学 総長室アドバイザー

県立広島大学 経営専門職大学院 (HBMS) 経営管理研究科 研究
科長社会システムズ・アーキテクト

東京大学工学部建築学科卒業。

米国ハーバード大学大学院都市デザイン修士、マサチューセツ
工科大学経営大学院修士 (MBA)。

前川國男建築設計事務所等で設計に従事後、1975 年マッキンゼー・アンド・カンパニー入社。87 年ディレクター、89 年から 94 年まで東京支社長。2002 年退職。その後、独立行政法人経済産業研究所 (上席研究員)、産業再生機構 (非常勤監査役)。イグレック SSDI 代表として「社会システム・デザイン」という分野の確立、発展に向けて活動する一方、東大 EMP 企画推進責任者 (2014-2017 特任教授)、東京大学総長室アドバイザー、オリックス顧問、オリックス生命株式会社社外取締役、JST 低炭素社会戦略センター上席研究員、県立広島大学 経営専門職大学院 (HBMS) 経営管理研究科長なども兼務している。2012 年には東京電力福島原子力発電所事故調査委員会委員を務めた。

主な著書に『東大エグゼクティブ・マネジメント デザインする思考力』、『東大エグゼクティブ・マネジメント 課題設定の思考力』(2 冊とも共著、東京大学出版会)、『循環思考』(東洋経済新報社)、『アメリカと比べない日本』(ファーストプレス)、『「豊なる衰退」と日本の戦略』(ダイヤモンド社)、『マッキンゼー合従連衡戦略』(共著、東洋経済新報社)、『成長創出革命』(ダイヤモンド社)、『コーポレートアーキテクチャー』(共著、ダイヤモンド社)、『企業変身願望—Corporate Metamorphosis Design』(NTT 出版)。その他、企業戦略、組織デザイン、ファイナンス、戦略的提携、企業変革、社会システム・デザインに関する小論文記事多数。